

新型コロナウイルス感染防止に対処した授業形式 Ver.3

文部科学省 「地域感染レベル」*1	レベル1	レベル2		レベル3 (特定警戒都道府県) = 「緊急事態宣言」	
「大阪モデル モニタリング指標」	緑	黄		赤	
「医福モデル」	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4 (医療非常事態宣言相当)	ステージ5 (緊急事態宣言相当)
授業形態と教室人数	平常授業	平常授業	平常授業を優先した 組み合わせ授業	分散を優先した 組み合わせ授業	遠隔を優先した 組み合わせ授業
	全面登校:クラス単位での授業 	全面登校:クラス単位での授業 大教室等は収容人数の半分以下 	全面登校:クラス単位での授業 大教室等は教室収容人数の半分 	分散登校:クラスの半分登校・半分遠隔 教室分散:クラスを2教室に分散 遠隔授業:自宅から遠隔授業 	分散登校:クラスの半分登校・半分遠隔 教室分散:クラスを2教室に分散 必要に応じてクラス単位での授業 
身体的距離	1m目安に学級内で最大限の間隔	1m目安に学級内で最大限の間隔		できるだけ2m程度(最低1m)	
講義	マスク着用など感染対策して実施	マスク着用など感染対策して実施		マスク着用など感染対策して実施	
グループワーク	マスク着用など感染対策して実施	マスク着用など感染対策して実施		マスク着用など感染対策を 徹底して短時間に限り実施	遠隔時のみ実施
学内実習	マスク着用など感染対策して実施	マスク着用など感染対策して実施		マスク・フェイスガード・手袋着用など 感染対策を徹底して、少人数で実施	マスク・フェイスガード・手袋着用など感染対策を徹底し、 感染リスクの低い実習に限定して少人数で実施
部活動	感染対策して活動	収束局面時:感染リスクの低い活動から徐々に実施 拡大局面:感染リスクの高い活動を停止		活動しない	

*1.文部科学省 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2020.8.6Ver3) 参照

「レベル1」:生活圏内の状況が、感染観察都道府県に相当する感染状況である地域のうち、レベル2にあたらないもの

「レベル2」:生活圏内の状況が、①「感染拡大注意都道府県」に相当する感染状況である地域

②「感染観察都道府県」に相当する感染状況である地域のうち、感染経路が不明な感染者が過去に一定程度存在していたことなどにより当面の間注意を要する地域

「レベル3」:生活圏内の状況が「特定(警戒)都道府県」に相当する感染状況である地域

*その他:クラスは40人程度、クラスの半分は20人程度を意味します。